

「神の導きが必要であること」をずっと忘れない

2026年の年句: 「神の導きが必要であることを自覚している人たちは幸福です」。マタイ 5:3

ポイント: エホバが用意してくれる①食べ物, ②服, ③安心して過ごせる所をどのように活用できますか

1. 私たちはどんなものを必要としていますか。(マタイ 5:3)

人間を造ったエホバは、私たちがどんなものを必要としているかよく知っています。生きていくために、①食べるもの, ②着るもの, ③住む所が必要です。短い間だけでもそういうものがなくなってしまうと、かなり大変になります。でも、必要なのは衣食住だけではありません。私たちは神について知り、神に導いてもらう必要があります。エホバはそういうふう人間を造りました。(マタイ 5:3 神の導きが必要であることを自覚している人たちは幸福です。天の王国はその人たちのものだからです。を読む。) 幸せになるためには、神の導きが必要だと自覚し、いつも神に頼ることが大切です。

2. 「神の導きが必要であることを自覚している人」とはどういう人ですか。

2 「神の導きが必要であることを自覚している人」とはどういう人でしょうか。この言葉の元のギリシャ語には、聖なる力を乞い求める人という意味があります。道端でぼろぼろの服を着てうずくまっている、物乞いの姿をイメージしてみてください。食べ物がなく、痩せこけていて弱っています。汚い格好をしているせいで、みんなから避けられています。日中は暑い日差しにさらされ、夜は寒さに凍えています。そして、誰かに助けてもらわないとやっていけないと痛感しています。神の導きが必要であることを自覚している人、つまり聖なる力を乞い求める人も、この物乞いと似ています。自分には神からの助けがどうしても必要だとよく分かっています。それで、エホバが与えてくれるものは何でも手に入りたい、という強い気持ちがあります。

3. この記事ではどんなことを考えますか。

3 この記事ではまず、①イエスに必死に助けを求めたフェニキア人の女性について考えます。その女性から、神の導きが必要だと自覚している人にとって大切な3つのことを学びます。②それから、ペテロ、パウロ、ダビデの手本についても考えます。3人とも、エホバに導いてもらいたいと思った人たちです。

神に導いてもらうために大切な3つのこと

4. フェニキア人の女性がイエスの所に来たのはどうしてですか。

4 ある時、フェニキア人の女性がイエスの所にやって来ます。彼女は娘が「邪悪な天使に取りつかれ、ひどく苦しめられています」した。（マタ 15:21-28 イエスはそこを去り、ティルスとシドンの地方に行った。22すると、その地方のフェニキア人女性が来て、「主よ、ダビデの子よ、憐れみをお掛けください。娘が邪悪な天使に取りつかれ、ひどく苦しめられています」と叫んだ。23しかしイエスは、一言も答えなかった。それで弟子たちが来て、言った。「この女性を追い払ってください。後に付いてきて、ずっと叫んでいます」。24 イエスは答えた。「私は、イスラエル国民の迷い出た羊の所にしか遣わされていません」。25 しかし女性は来て、イエスに敬意を表し、言った。「主よ、お助けください！」26 イエスは答えた。「子供たちのパンを取って小犬に投げ与えるのは正しくありません」。27 女性は言った。「そうです、主よ。けれど、小犬も主人の食卓から落ちるパンくずを食べます」。28 そこでイエスは言った。「素晴らしい信仰です！あなたの願う通りのことが起きますように」。すると、娘はその時、癒やされた。）女性はひざまずき、すぐるような思いでイエスに助けを求めます。この女性からどんなことを学べる？

5. フェニキア人の女性にはどんな良いところがありましたか。イエスは女性にどんなことをしてあげましたか。（挿絵も参照。）

5 この女性はとても謙虚でした。というのも、イエスが女性を異国人の家でペットとして飼われていた小犬に例えた時、むっとしたりはしなかったからです。もしあなたがイエスからそんなふうに言われたら、どう反応するでしょうか。ばかにされたと思っただけで、イエスに助けてもらおうとするのをやめてしまったかもしれません。でも、この女性は違いました。謙虚だっただけでなく、簡単には諦めない人でした。なんとしてでもイエスに助けてもらおうとしました。どうしてそこまでしたのでしょうか。イエスへの信仰があったからです。女性の信仰に心を打たれたイエスは異例のことをします。自分は「イスラエル国民の迷い出た羊の所にしか遣わされていません」と言っていたのに、その異国人の女性の娘から邪悪な天使を追い出してあげました。



フェニキア人の女性は謙虚で、簡単には諦めない、信仰の強い人だったので、イエスに助けてもらえた。（5節を参照）

6. フェニキア人の女性からどんなことを学べますか。

6 私たちも神に導いてもらうには、この女性のように謙虚で、簡単には諦めない、信仰の強い人になることが大切です。そういう人は謙虚に粘り強く、神に助けを求め続けます。また、イエス・キリストに強い信仰を持ちます。イエスが指示を与えるために使っている人たちのことも信頼します。（マタ 24:45-47 主人が、召し使いたちに適切な時に食物を与えるため、彼らの上に任命した忠実で思慮深い奴隷はいったい誰でしょうか。46 主人が来て、そうしているところを見たら、その奴隷は幸せです！47 はっきり言いますが、主人は自分の全ての持ち物を管理させるため

にその奴隷を任命します。) エホバとイエスは、謙虚で、簡単には諦めない、信仰を持つ人をぜひ導き、助けたいと思っています。(ヤコブ 1:5-7 皆さんの中に知恵の欠けた人がいるなら、その人は神に求め続けてください。神はとがめたり(*あら探しをしたり)せず、全ての人に惜しみなく与えてくださるからです。求め続ければ与えられます。6ただし、少しも疑わず、信仰を持って求め続けなければなりません。疑う人は、風に吹かれて揺れ動く海の波のようです。7そういう人は、エホバ(*)から何かを頂けるとはなりません。と比較。) では、エホバはどんな食べ物、服、場所を与えてくれるのでしょうか。そういうものをエホバからもらうために私たちには何ができるかを、ペテロ、パウロ、ダビデの手本から学びます。

ペテロのようによく食べる

7. ペテロはどんなことを任されましたか。でも、どんなことをする必要もありましたか。(ヘブライ 5:14-6:1)

7 ペテロについて考えてみましょう。ペテロはイエスが伝道を始めると、イエスをメシアとして認めました。また、エホバがイエスを使って人々に「永遠の命の言葉」を教えていることも理解しました。(ヨハ 6:66-68 このために、弟子のうち多くの人が以前の事柄に戻っていき、もはやイエスと共に歩もうとはしなかった。67それでイエスは12人に言った。「あなたたちも去っていきたいですか」。68シモン・ペテロが答えた。「主よ、私たちは誰の所に行けばよいのでしょうか。あなたは永遠の命の言葉を持っています。)

復活したイエスは天に行く前、ペテロに「私の小さな羊を養いなさい」と言いました。(ヨハ 21:17そして3度目に、「ヨハネの子シモン、私に愛情を抱いていますか」と言った。3度目に、「私に愛情を抱いていますか」と言われ、ペテロは悲しくなって、こう言った。「主よ、あなたは全て分かっています。私があなたに愛情を抱いていることを知っています」。イエスは言った。「私の小さな羊を養いなさい。)

ペテロはイエスから任されたことに誠実に取り組み、エホバに導かれて、聖書の一部になった2通の手紙も書きました。とはいえペテロは、自分自身でも神の言葉を学んで信仰を強める必要がありました。例えばパウロが聖なる力に導かれて書いた手紙を学びました。そういう手紙の中には「理解しにくい箇所もありました。(ペテロ 3:15, 16 また、私たちの主の辛抱を救いと考えてください。私たちの愛する兄弟パウロも、自分に与えられた知恵に沿って、皆さんにそう書き送りました。16パウロはどの手紙の中でもこれらのことについて述べていますが、中には理解しにくい箇所もあります。無知で(*教えられていない)不安定な人たちは、そうした箇所や聖書のほかの部分に曲解し、滅びを身に招いています。)

でもペテロは学ぶのをやめたりしませんでした。パウロの手紙の中にある「固い食物」も消化できるよう、エホバが助けてくれることを信じていたからです。(ヘブライ 5:14-6:1 一方、固い食物(*よくかんで食べる物)は、十分に成長した人(*大人)のためのものです。そのような人は、使うことによって識別力(*知覚力)を訓練したので、正しいことも悪いことも見分けることができます。6それで、私たちはキリストに関する初歩の教理より先に進んだのですから、十分に成長するように努力しましょう。基礎的な教えに逆戻りしては(d*再び土台を据えては)なりません。すなわち、むなしい(d*死んでいる)行いを悔い改めること、神への信仰、を読む。)

8. ペテロは神から新たな指示を受けた時、どうしましたか。

8 ペテロは信仰があったので、エホバからの指示に従いました。例えば、ヨッパという港町にいた時、幻の中で神から遣わされた天使に、動物をほふって食べなさいと言われました。モーセの律法では清くないとされている動物です。ユダヤ人なら嫌な気持ちになるような指示です。最初、ペテロは「それはできません、主よ。汚れたものや清くないものはこれまで食べたことはありません」と言いました。でもこう言われます。「神が清めたものを、汚れていると言ってはなりません」。(使徒 10:9-15 次の日、3人が旅を続けてその町に近づいた頃、ペテロは祈りをするため昼の12時ごろ屋上に上がった。10 しかし非常に空腹になり、何かを食べたくなった。食事が準備されている間に恍惚状態になり、11 天が開いて、何か(d*器のようなもの)が下ってくるのを見た。1枚の大きな亜麻布が四隅をつるされて地上に下ろされるかのようだった。12 その中には、あらゆる四つ足の動物や爬虫類(*地面を動く生き物)や鳥が入っていた。13 そして、「立ちなさい、ペテロ。これらをほふって(*犠牲にして/殺して)食べなさい！」という声がした。14 しかしペテロは言った。「それはできません、主よ。汚れたものや清くないものはこれまで食べたことはありません」。15 すると、2度目の声がした。「神が清めたものを、汚れていると言ってはなりません」。) その後の展開から、ペテロが考え方を調整したことが分かります。幻を見た後、異国人の**コルネリオ**から遣わされた3人の人がやって来て、主人の家に来てほしいと言います。ユダヤ人にとって**異国人は汚れた存在**だったので、家に行くなど考えられないことだったはずです。(使徒 10:28, 29 ペテロは言った。「よくご存じの通り、ユダヤ人にとって、別の民族の人と交友を持ったりそのもとを訪れたりするのは許されないことです。しかし神は、誰のことも汚れているとか清くないとか言ってはならないことを私に示しました。29 それで呼ばれた時、迷わずに来たのです。教えてください、私を呼んだのはなぜですか」。) でもペテロはエホバが願っていることを理解し、変化をすぐに受け入れました。(格 4:18 しかし、正しい人たちの道は夜明けの光のようだ。真昼になるまで明るさを増していく。) **コルネリオ**と家に集まっていた人たちに**真理**を伝えました。その結果、みんなイエスに**信仰**を持ち、**聖なる力**を注がれ、**バプテスマ**を受けました。(使徒 10:44-48 これらのことについてペテロが話しているうちに、神の言葉を聞く全ての人が聖なる力を受けた。45 ペテロと一緒に来ていた割礼を受けた信者たちはとても驚いた。無償の贈り物である聖なる力が異国の人々にも注がれていたからである。46 信者たちは、その人々が外国語で話して神をあがめるのを聞いた。それでペテロは言った。47 「この人たちは私たちと同じように聖なる力を受けました。水でバプテスマを受けることを誰が禁じられるでしょうか」。48 そして、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けるようにと命じた。その人々はペテロに、何日かとどまるよう頼んだ。)

9. 固い食物を食べることにはどんな2つのメリットがありますか。

9 私たちもペテロのように、**聖書をよく学ぶ**ことが大切です。乳のような基本的な教えも学びますが、**固い食物をぜひ食べたいという気持ちも必要**です。**より難しい聖書の教え**もきちんと学ぶ必要があるということです。**時間と努力は要り**ますが、**取り組むだけの価値**があります。少なくとも2つのメリットがあります。まず、① **エホバのことがもっとよく分かり**、エホバを**ますます好き**になり、**尊敬**できるようになります。2つ目に、② **素晴らしいお父さんエホバのことを人に知らせたい**という**気持ちが強**くなります。(ロマ 11:33 ああ、神の祝福は何と豊かで、神の知恵と知識は何と深いのでしょうか。神の裁きを知り抜くことも、神の道を知り尽くすことも決してで

きません。啓 4:11 「私たちの神エホバ(*), あなたは栄光と栄誉と力を受けるのにふさわしい方です。あなたが全てのものを創造されたからです。全てのものは、あなたのご意志によって存在するようになり、創造されました。ペテロから学ぶことはほかにもあります。聖書の理解が変わるときに、自分の考えに固執せず、新しく学んだことを受け入れるようにしましょう。そうしていれば、エホバに導いてもらい、エホバに仕え続けることができます。

パウロのように新しい服を身に着ける

10. エホバが用意してくれた服を身に着けるとはどういうことですか。 (コロサイ 3:8-10)

10 エホバに喜んでもらうためには、エホバが用意してくれた服を身に着けることが大切です。どういことでしょうか。パウロは「古い人格.....を脱ぎ捨て、新しい人格を身に着けましょう」と書いています。(コロサイ 3:8-10) しかし今は、それらを全て捨て去らなければなりません。憤り、怒り、悪い行い、暴言、口から出る下品な言葉を捨て去りなさい。9 互いにうそをついてはなりません。古い人格とそれに伴う習慣を脱ぎ捨て、10 新しい人格を身に着けましょう。新しい人格は、それを与えてくださる(*創造した)神の性質に沿って、正確な知識によって(*において)新しくされていきます。(読む。) 新しい人格を身に着けるというのは簡単なことではなく、毎日が闘いです。パウロにとってもそうでした。パウロは若い頃から神に喜ばれるために一生懸命頑張っていました。(ガラ 1:14) そして、多くの同年代の同胞よりもユダヤ教に打ち込み、はるかに熱心に父祖たちの伝統に従っていました。フィリ 3:4, 5) もっとも私は、人間的な事柄に基づいて誇ることもできます。人間的な事柄に基づいて誇れると思う人がほかにいるとしても、その人より私の方が誇る根拠があります。5 私は生後 8 日目に割礼を受けており、イスラエルの子孫、ベニヤミン族の者、ヘブライ人から生まれたヘブライ人です。律法に関しては、パリサイ派でした。) でも、神の考えがよく分かっていなかったもので、神に喜ばれるどころか、間違った方向に進んでいました。イエスについての真理を無視し、プライドに邪魔されて「横柄」な人になっていました。この時のパウロは古くてぼろぼろの服を着ているような状態でした。(テモ 1:13) 以前は神を冒瀆し、神の民を迫害し、横柄だった私が、憐れみを示されました。当時は信仰がなく、よく知らずに行動していたからです。)

11. パウロはどんな弱点と闘い続けなければいけませんでしたか。

11 クリスマンになる前のパウロは、かなり短気な人でした。「使徒の活動」の記録によると、クリスマンへの怒りに燃え、「弟子たちを脅し、殺そうと意気込んで」いました。(使徒 9:1) サウロは、なおも主イエスの弟子たちを脅し、殺そうと意気込んで、大祭司の所に行き、) クリスマンになった後は、そういう古い人格を脱ぎ捨てるために懸命に闘ったはずでした。(エフェ 4:22) 皆さんは、古い人格を脱ぎ捨てるようにと教えられました。その人格は、以前の生き方に基づくもので、悪い欲望に引きずられて腐敗していきます、31) あらゆる悪意、怒り、憤り、わめき、暴言など、一切の有害な事柄を捨て去ってください。) それでも、バルナバと意見が合わなかった時には「怒りが激しくぶつかって」しまいました。(使徒 15:37-39) バルナバは、マルコと呼ばれるヨハネを連れていくことに決めていた。38) しかしパウロは、パンフリアでマルコが一緒に行動するのをやめてしまったことがあるので、彼を連れていくことに賛成できなかった。39) そ

ここで怒りが激しくぶつかって、2人は別れることになった。バルナバはマルコを連れて船でキプロスに向かった。) 逆戻りしたと思ったかもしれませんが、パウロは諦めませんでした。エホバに喜んでもらうために「自分の体を打ちたた」くかのように弱さと闘い続けました。(コリ 9:27 自分を打ちたたき、奴隷にして従わせます。人々に伝道しておきながら、私自身が何かのことで退けられない(*失格にならない)ためです。)

12. パウロが古い人格を脱ぎ捨てる努力を続けられたのはどうしてですか。

12 パウロが古い人格を脱ぎ捨てて、新しい人格を身に着ける努力を続けられたのはどうしてでしょうか。自力で何とかしようとしなかったからです。(フィリ 4:13 力を与えてくださる方のおかげで、私は強くなり、どんなことも乗り越えられます(*行えます。)) ペテロのように、パウロも「神が与えてくださる力に頼って」いました。(ペテ 4:11 語る人は、神からの宣言を語るように語ってください。奉仕する人は、神が与えてくださる力に頼って奉仕してください。神が全てのことに関して、イエス・キリストを通してたたえられるためです。栄光と力はいつまでも永遠に神のものです。アーメン。) 時には失敗してがっかりすることもあったはずですが、でもパウロは、エホバがこれまで自分にどんな良いことをしてくれたかをじっくり考えたので、頑張り続けることができました。(ロマ 7:21-25 私には次の法則が当てはまります。正しいことをしたいと願うのに、自分の中に悪がある、ということです。22 私は、内面では(*内面の人としては)神の律法を本当に喜んでいます。23 しかし、体の中で別の律法が、考えを導く律法と戦い、私を捕らえて体の中にある罪の律法に従わせているのが分かります。24 私は実に惨めな人間です! こうして死につつある体から、誰が私を救ってくれるのでしょうか。25 私たちの主イエス・キリストを通して救ってくださる神に感謝します! このように、私自身、考えにおいては神の律法の奴隷ですが、体(d*肉)においては罪の律法の奴隷なのです。)

13. どのようにパウロに倣えますか。

13 私たちも、どれだけ長くエホバに仕えてきたとしても、パウロのように古い人格を脱ぎ捨て、新しい人格を身に着ける努力を続ける必要があります。そうやって、エホバが用意してくれた服を身に着けることができます。時には逆戻りしてしまい、かっとなったり不親切なことを言ったりしてしまうかもしれません。そんな時も自分はもう駄目だなどと思わなくて大丈夫です。考え方や行動を改善できるよう努めましょう。(ロマ 12:1, 2 そういう訳で、兄弟たち、神の思いやりに基づいて皆さんに強く勧めます。自分の体を、生きた犠牲、神に受け入れられる聖なる犠牲として差し出してください。理性を働かせて神聖な奉仕をするのです。2) そして、今の体制によって形作られるのをやめてください。かえって、考え方を新しくすることによって自分を変化させましょう。それは、神の善い意志、喜ばしい完全な意志を見極めるためです。エフエ 4:24) そして、新しい人格を身に着けましょう。その人格は神の意志に沿って形作られる(*創造された)ものであり、本当の正しさと忠実さ(*揺るぎない思い)に基づいています。) ぜひ覚えておきたいことがあります。本物の服は自分の体に合わせて調整することができますが、エホバがくれる服はそうではありません。エホバが願っていることに沿って、自分の側が変わらなければいけません。

ダビデのように安心できる所にいる

14-15. エホバはどのような意味で安心して過ごせる所を用意してくれていますか。(詩編 27:5) (写真も参照。)

14 本当に幸せになるためには、これまで考えてきた食べ物や服のほか、エホバが用意している安心して過ごせる所も必要です。どうでしょうか。どうすればそこにおいてエホバに守ってもらえるでしょうか。

15 ダビデは、エホバが避難所を用意してくれると言っています。(詩編 27:5 神は災難の日に私を避難所に隠してください。隠れがである天幕にかくまい、岩の上の高い所に置いてください。を読む。) エホバは今、私たちがどのように守ってくれているでしょうか。エホバとの絆が駄目にならないよう守ってくれています。私たちが攻撃するために作られるどんな武器も役に立たない、と保証しています。(詩 34:7 エホバの天使は神を畏れる人たちの周りにとどまり(*陣取り)、彼らを助け出す。イザ 54:17 あなたを攻撃するために作られるどんな武器も役に立たず、裁判においてあなたを責めるどの舌も有罪とされる(*あなたによってとがめられる)。これはエホバに仕える者たちが受ける財産であり、私が彼らを正しいと見なす」と、エホバは宣言する。) サタンとサタンに使われている天使たちや人たちは強力です。でもエホバの力にはかないません。たとえ命が奪われたとしても、エホバは私たちが生き返らせてくれます。(コリ 15:55-57 「死よ、さあ、勝利してみなさい。死よ、さあ、とげで刺してみなさい」。56 死をもたらすとげは罪であり、罪の力は律法によります。57 神に感謝しましょう！私たちの主イエス・キリストを通して勝利を与えてくださるからです。啓 21:3, 4 その時、王座から大きな声がした。「見なさい！神の天幕が人々と共にあり、神は人々と共に住み、人々は神の民となります。神が人々と共にいるようになるのです。4 神は人々の目から全ての涙を拭き去ります。もはや死はなくなり、悲しみも嘆きも苦痛もなくなります。以前のものは過ぎ去ったのです。’) またエホバは、私たちがいろいろな心配事があってもエホバに仕え続けられるよう守ってくれます。(格 12:25 心配事があると心が沈み(*憂鬱になり)、良い言葉によって心が晴れる。マタ 6:27-29 心配したからといって、誰が自分の寿命を少しでも延ばせるのでしょうか。28 また、服のことでなぜ心配しているのですか。野のユリがどのように育つかをよく考えなさい。苦勞して働いたり、糸を紡いだりはしません。29 しかし、華やかな生活を送ったソロモン王でさえ、このような花の1つほどにも装ってはいませんでした。’) 支えてくれる兄弟姉妹や、優しく世話してくれる長老たちも与えてくれます。(イザ 32:1, 21 人の王が正義のために統治する。高官たちが公正のために治める。2 彼らはおのおの、風から逃れるための場所、暴風雨から避難するための場所、水のない土地に流れる水、乾き切った土地にある大岩の陰のようになる。’) 集会で兄弟姉妹と一緒にいると、エホバが自分を守ってくれていることを実感できます。(へブ 10:24, 25 また、互いのことをよく考えて(*を気遣って/に関心を払って)、愛を表し立派な行いをするよう勧め(*意欲を起こさせ/奮い立たせ)合いましょう。25 仲間と集まることを怠ってはなりません。よく欠席する人たちに倣わないようにし、いつも励まし合いましょう。定められた日が近づいているのですから(*のを見て)、ますますこうしたことを行っていきましょう。)



姉妹が神に導いてもらうために、
仲間と一緒に集会に出席している。
(14-15節を参照)

16. エホバはダビデをどんなふうに守りましたか。

16 **ダビデ**はエホバに従っていた時、**過ちを犯して苦しむことがないように守られて**いました。(格
言 5:1, 2 わが子よ、私の知恵に注意を払え。私が識別力について教えることをよく聞きなさい。
2 これは**思考力を守るため**、**あなたの唇が知識からそれないためである。**と比較。)でも、**エホ
バの基準を無視**した時は**そうではありません**でした。(サム二 12:9, 10 どうして私エホバにとっ
て悪いことを行って、私の言葉を軽く見たのか。あなたはヘト人ウリヤを剣で討った！彼をアン
モン人の剣で殺してから、**彼の妻を自分の妻にした。**10 今後、あなたの家族は常に剣に悩まされ
る。あなたがヘト人ウリヤの妻を自分の妻にし、**私を侮ったからだ**。)では、**自分が悪いこと
をしていないのに苦しんで**いた時はどうだったでしょうか。ダビデは**祈って気持ちを洗いざらい
エホバに話しました**。エホバはそんなダビデの**祈りに応え**、**ダビデを愛し気に掛けている**ことを
伝え、**不安な気持ちを静めて**あげました。(詩 23:1-6 エホバは私の牧者。私は何も不足しない。
2 導かれて青々とした牧草地に寝そべり、**水の豊かな場所(if*静かな水辺)**で憩いを得て、**3 力を取
り戻す**。神がご自分の名のために、**正しい道に(*正しいことを行うよう)導いて**くださる。**4 深い
陰が覆う谷を歩んでも、何も悪いものを恐れない。あなたが共にいてくださるから。あなたの
棒とつえによって安心できる(*慰められる)。**5 私の敵の前で、あなたは食卓を整えてくださる。
頭に油を塗って(*私をもてなして)くださる。私の杯は満たされる。**6 一生涯、あなたの善い行い
と揺るぎない愛は私を離れない。生きている限り、私はエホバの家に住む。)**

17. ダビデからどんなことが学べますか。

17 **ダビデの例から**どんなことが学べるでしょうか。**エホバにアドバイスを求めて従えば良い判断
ができます**。でも、**まずい判断をしたせいで苦しむことが**あります。そういうとき、**エホバが守
ってくれなかった**と**考えるべきでは**ありません。(ガラ 6:7, 8 思い違いをして(*だまされて)はな
りません。神はご自分を侮る者を大目に見ることはありません。人は自分がまいてるものを必
ず刈り取ることになります。**8 罪深い欲望のままにまいてる人は、罪深い欲望によって腐敗を
刈り取り、聖なる力に導かれてまいてる人は、聖なる力によって永遠の命を刈り取ることにな
るのです。)**自分が悪いことをしたわけではないのに**つらい目**に遭う時は、**エホバが自分の心と
考えを守ってくれる**ことを**信じ**、**気持ちを洗いざらいエホバに伝え**ましょう。(フィリ 4:6, 7
何も心配せず、いつでも祈り、祈願を捧げ、感謝しつつ、願いを神に知っていただくようにしま

しょう。7そうすれば、神からの平和が、キリスト・イエスを通して皆さんの心と考えを守りま
す。その平和は人間の理解をはるかに超えています。)

これからも神に導いてもらう

18. どうすればエホバにこれからも導いてもらえますか。それが今大切なのはどうしてですか。(写真も参照。)

18 2026年 は、この聖句をいつも思い出すようにしましょう。「神の導きが必要であることを自覚
している人たちは幸福です」。この言葉がますます大切になっているのはどうしてでしょうか。
私たちの周りには、そもそも神の導きが必要ではないと考える人や、偽の宗教や哲学に頼って
いる人がたくさんいるからです。そういう人たちの影響を受けないようにしましょう。これからも
私たちはエホバに導いてもらいたいと思います。エホバが用意してくれた食べ物を味わい、新し
い人格という服を身に着け、安心して過ごせる所にいるなら、必ずそうできます。



エホバが用意してくれる食べ物を味わい、服を身に着け、
安心して過ごせる所にいることは大切。(18節を参照) *写真や
挿絵: 前の画像の姉妹が「ものみの塔」を勉強している。新しい人格を
身に着けて仲間に親切にしている。長老から元気もらっている。

エホバが用意してくれるものをどのように活用できますか

1. 食べ物

・S09 聖書をよく学ぶことが大切です。乳のような基本的な教えも学びますが、固い食物をぜひ
食べたいという気持ちも必要です。より難しい聖書の教えもきちんと学ぶ必要がある。聖書の理
解が変わるときに、自分の考えに固執せず、新しく学んだことを受け入れるようにすれば、エホ
バに導いてもらい、エホバに仕え続けることができる。

2. 服

・S13 私たちも、どれだけ長くエホバに仕えてきたとしても、パウロのように古い人格を脱ぎ捨
て、新しい人格を身に着ける努力を続ける必要がある。本物の服は自分の体に合わせて調整する
ことができるが、エホバがくれる服は、エホバが願っていることに沿って自分の側が変わらな
ければいけない。

3. 安心して過ごせる所

・S15 支えてくれる兄弟姉妹や、優しく世話してくれる長老たちも与えてくれている。集会で兄
弟姉妹と一緒にいると、エホバが自分を守ってくれていることを実感できるので、集会休まない
(・S17 エホバにアドバイスを求めて従えば良い判断ができる。まずい判断をしたせいで苦しむ
ことがあっても、エホバが自分の心と考えを守ってくれることを信じ、気持ちを洗いざらいエホ
バに伝える。)

162 番の歌 神の導きをいつも愛する